

# 基金繰入金 (貯金引出し)

## 【現状】

これまで財源不足額の穴埋めとして、基金の取り崩しによる財源対策をおこなってきたため、基金残高は年々減少。

	4年度	9年度	14年度見込み
基金残高(年度末)	2,296億円	1,215億円	825億円
基金取崩額	17億円	322億円	196億円

今後の公債費の増嵩や緊急の財政支出に備え、ルール化されているものを除き、原則取崩しを行わない方針を堅持し、特に、**財政調整基金**、**県債管理基金**は特別抑制期間中、一切取崩さない方針。

県有施設整備等の財源として特定留保すべき基金を除き、今後の財源対策として**実質取り崩し可能な基金を120億円温存**。

## 【課題】

15年度の財源対策として、実質取り崩し可能額120億円を活用すべきか、又は温存すべきかどうかの議論が必要。